しちかしゅく 議会だより

第256号
令和７年11月１日（2025年）

○令和７年９月定例会「令和６年度決算収支概略」　Ｐ２～
○一般質問　議員が町民の思いを届ける　Ｐ14～
◇吉田　修 議員　介護職員不足、行政支援が必要ではないか。
◇五十嵐敏夫 議員　住民を獣害から守る政策は。
◇高橋　浩之 議員　近年の気象状況への行政対策は。
◇髙橋きく子 議員　積極的なふるさと納税推進を。
○クローズアップ　小倉　章一 さん　「滑津の愛宕神社を訪ねて」　Ｐ18

今月の表紙は七ヶ宿町定期消防演習の様子です。
「伝統を受け継ぎ、きびきびとした訓練は町の安心安全に繋がります」

令和７年　第３回 七ヶ宿町 議会定例会が開かれました

第３回議会定例会は、９月２日（火）より９月12日（金）までの10日間開催されました。

行政より提出された「教育委員の任命」「条例の改正」「令和７年度一般会計補正予算（第３号）」は可決され、「令和６年度決算認定」は決算特別委員会を設置し、３日間に及ぶ質疑を経て審査を行い、令和６年度決算は全て認定されました。

令和６年度　決算収支概略

歳出決算総額　25億9209万円

民生費　3億7802万円
○保育所園庭整備工事
○物価高騰対応生活支援事業　他

総務費　7億2653万円
○学校施設整備基金積立金　他

農林水産業費　1億5639万円
○中山間地域等直接支払交付金　○多面的機能支払交付金
○木材チップ生産施設外構工事　他

衛生費　1億9717万円
○薬局運営安定支援補助金
○一般廃棄物収集運搬業務　他

土木費　2億8562万円
○町道瀬見原幹線舗装修繕工事
○地域担い手作り支援住宅新築工事　他

商工費　1億4310万円
○スキー場リフト修繕工事
○滑津旧街道木橋解体工事　他

教育費　2億4606万円
○学校施設新築基本構想策定業務
○給食調理業務　他

消防費　8655万円
○小型動力ポンプ購入
○消防団員報酬　他

公債費　2億７２８０万円　○町債元金償還金　○町債利子償還金

歳入決算総額　26億8674万円

地方譲与税　５２０２万円
○自動車重量譲与税
○森林環境譲与税　他

町　税　4億９１５２万円
○ダム交付金　○町民税
○固定資産税　他

地方交付税　１２億７０９４万円
○普通地方交付税
○特別地方交付税

地方消費税交付金　３４６４万円
○地方消費税交付金　他

県支出金　８６４３万円
○農林水産業費交付金
○総務費補助金　他

国庫支出金　1億７１１９万円
○総務費補助金
○土木費補助金　他

寄附金　８３４万円
○ふるさと納税寄附金
○一般寄附金

財産収入　３３４１万円
○財産貸付収入
○利子および配当金　他

繰越金　２６０６万円
○前年度繰越金　他

基金繰入金（特別会計からの繰入）　2億７１２１万円
○財政調整基金繰入金　他

町　債　1億３２０７万円
○過疎債　他

諸収入　６７８０万円
○中小企業振興資金貸付金元利収入
○観光施設整備資金貸付金元利収入　他

令和６年度特別会計決算・事業会計決算

会計名	歳入	歳出	備考
介護保険特別会計	２億９６９０万円	２億７７２４万円	
後期高齢者医療特別会計	２３３７万円	２２６７万円	
国民健康保険特別会計（事業勘定）	１億７７８８万円	１億７６１８万円	
国民健康保険特別会計（直診勘定）	１億　１０７万円	１億　　６万円	
介護サービス特別会計	２２１８万円	２１８４万円	
町営バス特別会計	４７０２万円	４６５３万円	
七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計	１５８１万円	１５１２万円	
簡易水道事業会計	１億１６８２万円	１億２０５３万円	収益的と資本的の計
下水道事業会計	２億２９１４万円	２億３４７３万円	〃

令和7年度 第3回定例会

会期（9月2日～12日）

◇主な案件

◆教育委員の任命
◆条例の改正
◆一般質問
◆令和7年度 一般会計補正予算
◆令和6年度 決算認定
◆決算特別委員会 委員長報告

◇教育委員の任命

【提案の理由】
任期満了に伴い、教育委員を任命しようとするもの。

吉野智洋（よしのともひろ）氏

小林瞬（こばやししゅん）氏

◇条例の改正　4件
（国の法律の改正に伴うもの）

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
◆七ヶ宿町選挙公営に関する条例の一部改正について
◆七ヶ宿町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

令和7年度 一般会計補正予算（第3号）
3740万円追加

【主な歳出】（概略）

・ふるさと納税返礼品不足額　198万8千円
・スキー場修繕料　390万7千円
・大原用水路災害復旧工事　735万円　他

◇一般会計補正予算質疑

問　五十嵐　敏夫　議員
庁用車テレビ視聴料の不足の理由と車両の台数は。

答　総務課長
平成24年からで車両は9台、視聴料の未払は認識不足で未契約だった。

問　五十嵐　敏夫　議員
不用薬品処理回収処分業務の内容は。

答　教育次長
理科で使用する薬品の処分で旧湯原中学校から持ってきた期限切れ等で使用できない薬品118個の処分料。

問　渡部　英幸　議員
大原用水路修繕の場所と内容は。

答　農林建設課長
長老湖から約800m下流、延長6・2mで用水路の崩落箇所修繕を行うもの。

令和6年度 決算特別委員会質疑

◆歳入

問　ふるさと納税は企画力を発揮し、幅広く寄付を募るべきでは。

答　返礼品については魅力ある品を提供し、選んでもらえる工夫を続ける。

問　七ヶ宿の米はブランド力があるので、財源確保の為、米のふるさと納税に力を入れるべきでは。

答　生産者本来の営業もあり、町が一方的に求めることは難しい。

問　町税の不納欠損の理由は。

答　滞納者が死亡し、親族が相続放棄したため。

◆歳出

問　森林環境譲与税減額の理由は。

答　金額は面積や人口割等で算出される。農地中間管理機構関連農地整備事業負担金の減額及び農林業生産育成事業補助金の予算額に対する実績額の差が主な要因。

問　通院タクシーの利用実績は。

答　157日運行し、延べ利用者は243人。行き先は白石市112人、大河原町が11人、高畠町116人、川西町4人。

問　仮置き場放射線量測定業務の内容は。

答　柏木山にある仮置き場の空間線量の測定。

問　乙女ゆり群生地保存管理業務の内容と委託先は。

答　群生地エリアを年2回の草刈作業と48球の植え付けを行った。管理は七ヶ宿町森林組合に委託している。

問　農業振興地域整備計画策定業務の内容は。

答　農業振興地域の見直しの為アンケート調査や土地の選定等を実施し、基本構想を作成した。

問　良質米生産推進業務の内容は。

答　3つのほ場でドローンによる生育調査や坪刈り、食味鑑定測定等の実施、報告会を行った。

問　サル接近警戒システム点検調整業務の内容は。

答　滑津地区・横川地区に設置しているシステム機器を毎年業者が点検している。

▲サル接近警戒システム（滑津）

問　備品で購入した電気柵の設置場所は。

答　横川地区沼ノ内のほ場に1460mの電気柵を設置した。

問　有害鳥獣捕獲隊（追い払い隊）が減少しているが今後どのように考えているか。

答　免許取得などの助成をアピールし、募集を行っているが、見つからないのが現状。

問　ふるさと体験交流館（街道HOSTELおたて）の令和6年度の利用実績は。

答　利用者数は1375名、総売り上げは890万7千円。

問　南蔵王やまびこの森キャンプ場の令和6年度の利用実績は。

答　利用者数は286組、1005名、総売り上げは約1058万3千円。

問　滑津旧街道の木橋解体工事で260万円が支出されたが、地区からその後の要望などはなかったか。

答　工事の状況は滑津区長に報告し、現場を見ていただいている。地区からは当初、常時渡れる橋があった方が良いとの意見はありましたが、イベント開催時に仮設の橋を設置する考えを説明している。

決算特別委員会現場調査

9月5日に決算特別委員会の現場調査を実施しました。関保育所園庭整備工事と町道瀬見原幹線舗装修繕等工事について、現地で担当課より説明を受けました。

▲町道瀬見原幹線舗装修繕等工事現場調査

▲関保育所園庭整備工事現場調査

◇総括質疑

問　これまで20年間スキー場を運営してきた「(有)はあとリゾート」の運営実績をどう評価しているのか。また新たに指定管理者となった「七ヶ宿まちづくり(株)」へ期待するものは。

答　(有)はあとリゾートには、20年間運営の感謝を述べた。七ヶ宿まちづくり(株)には、町内の雇用増と終年を通して、観光拠点として利用いただくことを期待する。

問　指定管理施設の設備の老朽化を踏まえ、管理者に定期点検の指導をすべきではないか。また、点検マニュアル整備、専門設備の計画的修繕の必要性についてどの様に考えているか。

答　点検については、きちんと行う必要があると考えている。町からの指定管理者への指導は引き続き行う。

修繕については優先順位を決め、しっかり計画を立てながら修繕を実施している。故障・破損等については、緊急的な対応もしている。

問　町職員は多くの事業や業務を抱えている。職員の現状と国の働き方改革の流れもあり、役場の機構改革を検討すべきではないか。

答　人口約1，200人に62名の職員で多様化する業務を担う中、国がデジタル化を推進していることや新規事業などより新たな労力も必要となっている。事務分掌の見直しを来年度実施できるよう考えている。

議案の審議結果

【表の見方】　○:賛成　×:反対　欠:欠席　早:早退　議:議長　退:退席　除:除斥　投:投票　※議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名 1 高橋浩之	2 高橋きく子	3 渡部英幸	4 五十嵐敏夫	5 吉田修	6 高橋茂美	7 今野三喜男	8 菅原研治		掲載頁
		令和7年											
令和7年第3回定例会													
議案第46号	教育委員の任命について	9月2日	同意	○	○	○	○	○	○	○	議		P4
議案第47号	教育委員の任命について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第48号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	9月4日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第49号	職員の育児休暇等に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第50号	七ヶ宿町選挙公営に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第51号	七ヶ宿町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第52号	令和7年度七ヶ宿町一般会計補正予算　(第3号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第53号	令和7年度七ヶ宿町介護保険特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第54号	令和7年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第55号	令和7年度七ヶ宿町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第56号	令和7年度七ヶ宿町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第37号	令和6年度七ヶ宿町一般会計歳入歳出決算認定について	9月12日	認定	○	○	○	○	○	○	○	議		P5
議案第38号	令和6年度七ヶ宿町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第39号	令和6年度七ヶ宿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第40号	令和6年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第41号	令和6年度七ヶ宿町介護サービス特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第42号	令和6年度七ヶ宿町町営バス特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第43号	令和6年度七ヶ宿町七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第44号	令和6年度七ヶ宿町簡易水道事業会計決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議案第45号	令和6年度七ヶ宿町下水道事業会計決算認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		〃
議発第4号	七ヶ宿町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	9月4日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議		−
決議第1号	教育環境整備特別委員会設置について	9月12日	〃	○	○	○	○	○	○	○	議		P7

特別委員会の設置

1，名　　称　　教育環境整備特別委員会
2，設置の根拠　　地方自治法第109条及び七ヶ宿町議会委員会条例第5条
3，目　　的　　教育環境整備の充実を図ること目的とする
4，期　　間　　調査完了まで
5，委員の定数　　議員全員

■委員長　今　野　三喜男　　■副委員長　渡　部　英　幸

決算特別委員会審査結果報告書（概略）

令和６年度一般会計外６特別会計並びに２事業会計の決算内容について詳細な審査をした結果、いずれも妥当なものと認定することに決定しました。

ただし、各委員から事務事業の改善や工夫に加え、次年度の予算編成に向けても以下のような意見が出されました。

① 町の保有する施設・設備や高額な機器などに対する日々の点検を励行し、多額な修繕費の抑制に努める必要がある。

② 異常な気象温暖化から住民の生命を守るため、空調機設置への助成など福祉行政の更なる充実を図る必要がある。

③ 煩雑化している業務内容に対応できる機構改革や専門職員の導入など、行政職員への業務負担軽減を図るべきである。

④ ふるさと納税は地域活性の貴重な財源であり、返礼品の開発など町の経済力強化にもつながる積極的対応が必要である。

⑤ 高齢者や買い物難民の救済を図るため、移動販売の稼働内容を見直し、現状に即した行政の適切な対応が必要である。

⑥ 後世に遺せる森林整備とともに、熊や鳥獣から生活圏域を守る林業政策など、環境整備の観点からも推進すべきである。

以上、諸課題の山積する町の現状ではあるが、決算委員会における各委員からの意見を重く踏まえ、町民福祉の充実はもとより持続可能なまちづくり実現に向けた一層の行政努力を強く求め報告といたします。

決算特別委員長　五十嵐　敏　夫

「行政執行への提言書」を提出

▲正副議長が町長に提出しました

令和７年第３回定例会に示された令和６年度の決算内容について審査した結果、各委員から出された意見を集約し、行政執行に対する提言として町長に提出しました。

提言書の内容については、上段に記載した決算特別委員長の報告の各項目を「地域産業振興政策」や「地域生活支援政策」、「効果的行革政策」に分け提言としましたので、委員長報告の内容をご確認ください。

令和６年度決算審査報告書（抜粋・集約）

事務事業の執行については、関係法令及び条例規則等を遵守しており、違法あるいは不当な契約や支出がなく、予算に計上された事項は、概ね適正に執行されていることを認めます。

⑴移住定住支援対策と人口減少について

移住定住の支援策の成果が表れているものと評価されます。一方で、移住先が関地区に集中する傾向から、他地区の人口減少が際立つ状況にあります。集落機能の維持が懸念される状況にもあります。

⑵七ヶ宿観光開発（株）の清算と出資金について

平成２年に設立した七ヶ宿観光開発（株）は、令和６年に清算人会議が開催されました。町は同社に「４千万円」を出資していましたが、清算返済金は「１１００万９千円」となりました。貸借対照表における純資産の利益剰余金は「▲２８９９万１千円」と確定していますので、差額の出資金は、赤字補てんに充てられる結果となりました。

町は出資法人に対し、第３セクターの健全運営に留意する責務があります。

⑶指定管理施設の運営について

道の駅七ヶ宿の管理運営が令和６年度に「七ヶ宿観光開発（株）」から「七ヶ宿まちづくり（株）」に移管されたほか、七ヶ宿スキー場は、20年続いた「（有）はあとリゾート」の管理運営が令和６年度末で終了して「七ヶ宿まちづくり（株）」に移行しております。町は、出資者の責務として、「七ヶ宿まちづくり（株）」の財務諸表の分析や評価検証に留意し、透明性を高める為に情報公開を進めるなど説明責任に努める必要があります。

⑷町税及び各種使用料等の収納対策について

町税等は、収納努力の成果が見受けられ年々滞納額が減少しています。

一方で、事業会計に移行した２事業の決算貸借対照表の未収金は僅かではあるが増加しています。滞納整理本部において、一層の効果的な収納対策を講じるよう望みます。

⑸施策・事業の評価検証について

新規の事務事業が増え続け、職員の負担も増加しております。一方、長年継続している事業が多く存在しています。長期総合計画の後期に入ろうとする今こそ、既存の事務事業の棚卸しを実行する時期に来ていると思われます。

⑹国保診療所及び公共施設の環境整備について

国保診療所玄関の自動ドア整備や施設内の土足解禁により、高齢者に優しい環境が整えられたほか、また、その他の公共施設においても、同様に自動ドア、エアコンの整備等の対応が望まれます。

⑺薬局運営支援と規制緩和について

国保診療所と一体不可欠なのが薬局の存在です。万が一にも、唯一の薬局が廃業などにより、薬局難民が発生することを避けるために、運営支援金の継続交付が重要と思われます。

⑻普通会計の決算統計による財政分析指標について

令和６年度に於いて新たに「学校施設整備基金」が設置され「２億円」が積立てられました。財政調整基金等の各種基金においても適正な残高が確保されているものと思われます。職員の定年延長に伴う人件費や施設の老朽化による修繕、改修のほか、学校施設新築に伴う財政支出の増加が予想されますので、今後とも健全な財政運営が図られるように努めて頂きたい。

代表監査委員　神　尾　重　行

令和７年 第２回定例会以降の議会・議長の動向

月　日	場　所	会議・行事等名	出席者
６月 10 日	仙台市	土砂災害防止「全国の集い」	議長
６月 11 日	白石市	白石地区暴力団追放対策協議会総会	議長
６月 12 日	町内	6.12 総合防災訓練	議長・副議長・吉田
６月 16 日	事務室	広報特別委員会	広報委員
６月 19 日	高齢者センター	町シルバー人材センター総会	議長
６月 23 日	第３会議室	議会と語る会実行委員会とりまとめ	議員全員
６月 23 日	事務室	広報特別委員会	広報委員
6/25-6/27	徳島県・美波町、松茂町	仙南亙理議長会議長視察研修	議長
６月 26 日	事務室	広報特別委員会	広報委員
６月 26 日	大河原町	みやぎ仙南農協　第 27 回通常総代会	副議長
６月 29 日	町内	自由民主党七ヶ宿町支部総会	議長
６月 29 日	白石市	菊地忠久県議事務所開き	議長
６月 30 日	仙台市	県議長会引継ぎ並びに宮城県知事就退任あいさつ	議長
７月 ２ 日	山形県高畠町	国道 399 号福島南陽間改良促進期成同盟会	議長
７月 ３ 日	仙台市	議員講座①	議長、渡部、髙き、髙浩
７月 ４ 日	仙台市	議員講座②	副議長、吉田、五十嵐
７月 ４ 日	仙台市	北方領土返還要求県民フォーラム	議長
７月 ７ 日	議場	第２回臨時会	議員全員
７月 ７ 日	事務室	広報特別委員会	広報委員
７月 ９ 日	開発センター	スポーツ文化振興会理事会	議長
7/10-7/11	白石市	仙南亙理地方町村議会議長会常任委員長研修会	正副議長･常任委員長（副委員長）
７月 16 日	事務室	広報特別委員会	広報委員
７月 18 日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合議運・全協	議長・渡部
7/24-7/25	茨城県大洗町・茨城町	視察研修	議員全員
７月 28 日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部
７月 30 日	町内	産業建設常任委員会所管事務調査	産建委員
８ 月 １ 日	福島県相馬市	相馬港建設促進期成同盟会	議長
８ 月 ４ 日	利府町	町村議会議員セミナー	議員全員
８ 月 ５ 日	町内	総務文教常任委員会所管事務調査	総文委員
８ 月 ６ 日	仙台市	後期高齢者医療広域連合全員協議会	吉田
８ 月 ８ 日	役場事務室	愛知県扶桑町議員視察対応	議長
８月 15 日	活性化センター	令和７年度七ヶ宿町二十歳を祝う会	議員全員
８月 20 日	仙台市	後期高齢者医療広域連合議会	吉田
８月 23 日	町内	わらじで歩こう七ヶ宿　前夜祭	議員全員
８月 24 日	町内	わらじで歩こう七ヶ宿	議員全員
８月 26 日	第３会議室	議会運営委員会	議運委員
８月 26 日	第３会議室	全員協議会	議員全員

～今回の表紙は～　　七ヶ宿町定期消防演習

訓練された消防団員の姿に来賓の方々より大きな拍手が送られていました。
表彰を受けた団員の皆様に敬意を表します。おめでとうございます。

所管事務調査報告

「介護事業の安定と人材の確保・育成対策は」

調査実施日　令和７年８月５日（火）
調 査 事 項　七ヶ宿町のヘルパー並びに訪問介護の現状と課題について
総務文教常任委員会　委員長　五十嵐　敏　夫

町が七ヶ宿町社会福祉協議会に委託している、介護事業（デイサービス事業）は通所介護と訪問介護などを行っているが、事業経営の中で利用者の減少や介護人材（ヘルパー）の不足などが危惧されることから､事業継続の為､委員から下記のような様々な問題点や要望が出された。

１．通所介護と訪問介護を職員が兼任している状況であることから､負担軽減のため、抜本的に職員の雇用の増強や給与面など処遇の大幅改善が必要である。
２．他の指定管理団体と従業員の雇用対策やヘルパーの資格取得について、コミュニケーションを密に設けることが必要ではないか。
３．近隣市町では介護施設の閉鎖や倒産が見受けられるが、事業の安定や継続のために、首長との意見交換を頻繁に行うべきではないか。
４．社会福祉協議会は介護事業の根幹であるので、施設の維持や待遇改善に対して、行政も積極的な関わりを持つべきではないか。

以上、本町の高齢者福祉事業の存続に対して、早めの対策や住民福祉を最優先に取り組むことを願い委員長報告とします。

「町有林の整備や財産管理は適切か」

調査実施日　令和７年７月 30 日（水）
調 査 事 項　七ヶ宿町森林経営計画の実施状況と今後の事業計画について
産業建設常任委員会　委員長　渡　部　英　幸

町民の財産である、町有林の現状と今後の計画及び町有林の財産管理について調査を行った結果、委員からは下記のような意見がありました。

１．作業委託については公平な入札制度の確立が必要である、さらに木材の販売においては市場の動向も考慮し経費の削減に努められたい。
２．作業道の開設は自然環境に配慮すること。
３．間伐等の作業委託契約においては、町の担当課においても、定期的に現場の状況を確認することが重要である。

以上、町の財産である町有林の管理保全の重要性を再度認識し運用にあたることを望み、委員長報告といたします。

行政視察　研修報告（7月24日～7月25日）

茨城県茨城町　～移住定住政策（三世代が共に輝く元気交流空間）について

全国町村会ホームページで紹介　いばらきまち未来への道しるべ
～三世代が共に輝く元気交流空間　夢と希望を未来へつなぐまち～

定住コンシェルジュやオンライン移住相談、移住者の個性や生活感の違いから、行政に対しての多様な要望などを伺い、約10年間で24組70人転入増の実績や「茨城町ふるさと元気づくり推進事業」について取組の説明を受けた。

移住定住や結婚支援など30事業を広域的に連携しながら実施しており、大いに参考にすべき先進事例であったと思われます。　管原研治議長

近隣の市町村との連携で事業を展開しているのが参考になった。　今野三喜男副議長

人口が多いせいか一世帯あたりの補助金額が少ないように感じた。　髙橋茂美議員

移住者と地域住民との交流やコミュニケーションの充実が必要だと感じた。　吉田修議員

専従職員のサポートに感銘を受けました。町の文化継承ワークショップの解説など人口減少対策の重要性を改めて認識した。　五十嵐敏夫議員

先進事例を政策的に導入し、当町の魅力を発信する工夫が必要と改めて認識した。　渡部英幸議員

「定住コンシェルジュ」「集落支援員」など行政主体ではなく共に運営されていると感じた。　髙橋きく子議員

他自治体の実践例を知ることで本町の課題を再認識しました。　髙橋浩之議員

茨城県大洗町　～議会広報誌の編集と発行について

令和３年度全国町村議会広報表彰　奨励賞　編集・デザイン部門

議場内の撮影方法や、議会だより作成に関する問題点、編集会議の役割分担等について伺った。さらに、議会懇談会の実施方法や効果などについても説明を受けた。

町民との懇談会やアンケートを積極的に活用し、議会としての積極性を強く感じることができました。　管原研治議長

広報誌を横書きにするなど見やすい工夫が感じられた。　今野三喜男副議長

試行錯誤を繰り返して町民にいかに情報が伝わりやすいか努力していることに感銘を受けた。　髙橋茂美議員

本町の広報委員会も効率のよい工程と工夫した紙面づくりが必要と感じた。　吉田修議員

ＩＣＴ化が進んでいて、タブレットの活用や議会のライブカメラ活用にて、全町民が把握できるシステムが素晴らしく感じた。　五十嵐敏夫議員

町民との懇談会は議員が２班に分かれ、町民の要望を聞いて開催していることが素晴らしいと思った。　渡部英幸議員

当町としても積極的な情報発信力の機能強化について取り組んでほしいと感じました。　髙橋きく子議員

多くのヒントや新しい発想を得られ、今後見やすい広報を目標にしていきたいと思います。　髙橋浩之議員

行政視察研修

吉田（よしだ）　修（おさむ）　議員

問　町の介護予防サービス事業は、社会福祉協議会に委託しており、主に通所介護・訪問介護・配食サービス業務を行っている。しかし介護人材を募集してもなかなか集まらないという実情から将来サービス事業が維持できるのか危惧される。行政としてどの様に見ているか。

答　平成18年から介護サービス事業を安定的、継続的に提供するため、指定管理者として社会福祉協議会に委託してきた。サービス事業が継続できるよう支援に努めてきた。

問　全国的に介護事業所の介護人材不足や経営不振により倒産や閉鎖が見受けられる。

本町のデイサービス事業の存続について、対策や計画などが必要ではないか。

▲いこいの里

問　介護職員不足、行政支援が必要ではないか

答　サービス事業が継続できるよう支援したい

答　全国的に介護職員の人材不足が大きな課題となっている。社会福祉協議会においても、介護職員の約半数が60代という状況にあり、計画的に介護職員を採用し、人員の確保が図られ、安定した介護サービス事業の運営がなされるように情報提供や財政支援も含め引き続き協議していきたい。

問　健康福祉課と社会福祉協議会が連携してデイサービス事業を行っているが、将来に向けた人材確保のためにも介護ヘルパーの給料や福利厚生はもとより、介護ヘルパー資格取得に要する財政支援なども考慮していく必要があるのではないか。

答　本町の第9期介護保険事業計画による推計では人口の減少に伴い、要支援・要介護認定者も減少する見込みとなっている。

利用者の減少により介護報酬も減少することが予測される。今後の社会情勢の変化を見つめながら、安定した運営ができるよう協議を行っていきたい。

又、介護資格取得については宮城県では介護職員初任者研修事業者支援補助金制度が有るので、有功に利用して欲しい。

【自己チェックシート】

高齢者が多い中で、福祉行政について質問をした。

介護事業を進める中で社会福祉協議会はなくてはならない存在である。行政も社協と連携・協議をしてさまざまな課題に取り組んでゆくとの事を確認した。今後の介護職員不足解消を見守りたい。

五十嵐（いがらし）　敏夫（としお）　議員

問　住民を獣害から守る政策は

答　鳥獣害追い払い活動の中で実施する

問　全国的に獣害が多発している。特に熊の被害は農作物のみでなく、人間や家畜に対しても甚大な影響が発生していることから、人身被害を未然に防ぐ安全対策と鳥獣害追い払い隊や駆除隊の活動について、町民を獣害から守る対策について伺う。

答　町では鳥獣被害対策実施隊として6名委嘱し追い払い業務による捕獲や銃による駆除業務を行っている。農作物の被害情報及び熊などの目撃情報の際は、現地に駆け付け、罠の設置や駆除及び減容化施設での処理を行っている。

問　先日町内でも湯原診療所や田野井製作所周辺などで、熊の出没が報告されているが、具体的な対策基本方針はあるのか。

答　まずは、熊の出没場所には近づかないことが重要である。環境省が銃猟によるガイドラインを発表し、9月1日から市街地での熊の銃猟が可能になったので現在猟友会と実施方法について打ち合わせをしている。

問　近年暖冬により熊も冬眠せずに人里を荒らしていることから鳥獣害追い払い隊の雇用期間の延長など夏と同様の巡視を行うべきではないか。

答　除雪隊員も必要であり、今までどおり雇用し、巡回が必要かどうか猟友会などの関係者に話を聞いてみたい。

問　国では追い払い隊員などの専門人材やハンター育成の為、会計年度職員への登用制度の人件費にも交付金新設の試案がある。隊員の雇用拡大のため、検討すべきではないか。

答　会計年度職員徴用制度の中身や雇用期間など、中身を精査していきたい。

問　令和7年度より、第6期中山間直接支払制度が始まったが、今年度遊休農地が町全体で約25ヘクタール増加している。獣の温床となる遊休農地や荒廃地の草刈り作業などに行政の適正管理が不可欠ではないか。

答　第6期の集落協定として話合いが成されたものと町として判断している。町の土地ではないので各地区や農家の方々と将来どう維持していくかは確認したい。

問　町の未来のために、農地形成として中山間直接支払い制度から外れた農地の除草剤散布や草刈り作業を行政事務委託や業者への委託対応ができないのか。

答　本来は多面的機能支払交付金や中山間直接支払制度のエリアに組み入れてその中で業者を入れて構わないことになっている。

外れたところを別の方法で守って欲しいというのは方向性が違うと感じる。

【自己チェックシート】

獣害による人身被害の緊急性や獣の温床となる荒廃地の解消は、町民の命や生活を守るため重要と考え質問したが、行政の現状を変えることができず、不本意な質疑になったことは、残念であった。

高橋（たかはし）　浩之（ひろゆき）　議員

問　近年豪雨災害が増えていることから防災計画の見直しや関係機関との連携強化について伺う。

答　近年の災害時には消防団や自治会などと連携し災害対応を行ってきた。七ヶ宿町地域防災計画については、前回の更新から10年が経過することから改訂をしていきたい。

問　町有林の伐採や作業道設置に伴う裸地化による土砂災害リスクが懸念される。白石川へ流入する沢の点検を強化し、防災と環境保全の両面から未然防止策を考えているのか。

答　公共の作業道は伐採後の植林や山林管理を見据えて整備し、町として適切に管理している。白石川についても管理している宮城県と連携し、年2回の協議で町の要望と県の事業の進め方の確認を行っている。

▲町有林間伐材搬出道路

問　高齢者や子育て世帯などへの健康被害防止の周知啓発や行政としての支援体制は。

問　近年の気象状況を鑑みた行政対策は
答　新たな方法を積極的に取り入れ、町民の命を守る取り組みを行う

答　記録的な猛暑に対し、住民の皆さんが自らの健康を守るための行動を促すことが重要であると考えている。今後も世代の特性に応じた周知・訪問支援を継続し、医療・福祉機関とも連携強化が必要である。熱中症特別警戒アラート時の連携を更に密にし、実効性のある支援を講じていきたい。

問　町民の健康被害防止策として、今年度から各公民館も利用し、クーリングシェルターが開設されたが、実質的利用は少ない。今後の行政対応は。

答　公共施設については、積極的にクーリングシェルターに指定し、開放している。熱中症警戒アラート発生表時には今年度より各公民館を解放した。利用状況などを踏まえ今後検討していく。

問　高齢者世帯や子育て世帯、空き家購入者に対し、エアコンを含めた空調設備の新設・更新補助や光熱費助成制度の創設を検討すべきではないか。

答　しっかり調査をしながら、どういう在り方が良いのか検討していきたい。

【自己チェックシート】

今回、防災や猛暑対策に関する質問を通じて、町民の命と暮らしを守るという行政の使命を改めて意識することができました。要支援者の避難支援や防災計画の見直し、猛暑による健康被害への対応など、課題は多岐にわたりますが、それぞれに町民の不安や期待が反映されていると感じます。質問を整理する過程で、自らの問いが抽象的にとどまらず、具体的な事例や提案を交えて伝えることの重要性を再認識しました。今後は町民と行政、関係機関が協力し、災害に強く健康に安心して暮らせる地域づくりにつなげられるよう、さらに工夫を重ねていきたいと思います。

高橋（たかはし）　きく子（こ）　議員

問　積極的なふるさと納税政策推進を
答　魅力ある返礼品の登録を進めたい

問　自治体にとって貴重な収入源となる「ふるさと納税」に多くの皆さんから協力いただくために返礼品の掘り出しや開発が必要ではないか。

答　返礼品提供の主体は事業者のため、声掛けを行い、掘り起しや開発を推進している。令和6年度は6品目だが、令和7年は32品目と5倍以上の数に増加している。

問　本町から多くの人々が県内外に巣立ち、ダム建設では約600人の町民が町外に移住している。ふるさと納税への理解を求める行政努力が必要ではないか。

答　ダム建設から50年以上経過していることから、その転出者にふるさと納税の案内をすることは難しい。

問　町政運営に対する財政面における課題が多くあることから、ふるさと納税に一層の政策展開が必要ではないか。

答　財政運営についてはほぼ健全な状況で推移している。

今回は昨今の米の値上がり等を受け、米の予約販売を実施し、500万円という金額を獲得できた。

町と事業者で申し込んだ量が確実に提供できることを前提に考えていきたい。

問　個人版と企業版のふるさと納税の内訳は。

答　ふるさと納税の実績は個人版で令和6年度が41件70万8000円、令和7年度は8月末時点で407件582万1000円。企業版は令和5年度から3年間で現金が1350万円、物品が550万円の約1900万円となっている。

問　町では新たな学校施設整備計画を進めているが、ふるさと納税を貴重な事業費に活用できるのではないか。

答　ふるさと納税は納税者に町の返礼品を選んでいただく形なので、町の産業構造を考えると何千万円、何億円は困難と思うが引き続き成長していけるよう継続的に努力していきたい。

問　返礼品の工夫や必要経費など課題はあるが、成果の上がる企画力と前向きな姿勢が重要ではないか。

答　ふるさと納税に限らず町の発展と町民の安全安心な暮らしは行政として考えて実施している。税の確保も含めて町民や施設維持のためしっかり確保していきたい。

令和6年度
ふるさと納税ランキング

七ヶ宿町	全国1729位
	70万8000円
蔵王町	全国472位
	6億4500万円
角田市	全国38位
	（仙南トップ）
	49億2000万円

議員調べ

【自己チェックシート】

高齢者が多く税収の少ない本町にとって「ふるさと納税」は貴重な収入源なので、町長に積極的な答弁を期待したが、答弁は昨今の米不足便乗策にとどまり、具体的かつ魅力的な企画案が示されなかったので、改めて提案型の質問をする必要性を感じた。

■発行／七ヶ宿町議会　〒989－0592　宮城県刈田郡七ヶ宿町字関126　■編集／七ヶ宿町議会広報特別委員会　■印刷／株式会社神尾印刷所

クローズアップ
滑津の愛宕神社を訪ねて

滑津地区の「愛宕神社」の歴史や祭典について、自治会長の小倉章一さんにその由来等を尋ねてみました。

滑津愛宕神社は火伏の神が祀られていると云われています。

神社建設の時期は定かでないが、境内には、播州（今の兵庫県）から、1819年に植栽された「高砂の松」の大木が今も現存しており、社殿内には植栽当時の古文の版木もあります。

▲滑津愛宕神社

また、境内には色々な動物の石碑があり、その中でも昔養蚕が盛んであった頃の鼠退治の為か、めずらしい猫の石碑が祀られています。春と秋には例大祭が行われ、コロナ禍前までは、お神輿の巡行も行われ、アトラクションでは歌手を呼んでのイベントも開催されましたが、現在は地区住民による、神社の清掃作業と神明社宮司による神事のみ開催しています。また、参道鳥居近辺には、学問の神様と云われている、「天満宮」の石碑があります。

滑津地区の守り神社として今後も後世に残せるように保存活動を続けていきたいと思います。

小倉　章一さん
滑津地区自治会長

議会を傍聴してみませんか？

次回の議会は令和７年12月３日から５日の日程で、第４回定例会を開催予定です。
傍聴に関してのご質問は「議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年の夏は今までにない猛暑となり、町では初めて各地区の公民館などの施設を涼みの場として提供されました。

議会においても住宅への冷房装置の助成制度の必要性が議論されたこともあり、町民の皆様の安心・安全を最優先に考えた政策提言に取り組んで行きたいと考えます。

（五十嵐）

■議会広報特別委員会

委員長　吉田　修
副委員長　髙橋浩之
委員　五十嵐敏夫
委員　髙橋きく子

議会だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。
現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷**連絡先**　七ヶ宿町議会事務局　☎ 37-2197　FAX 37-2198

９月定例会の傍聴者は２名でした